

キャラクター名

御影＝アスタ＝玲

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ハヌマーン		ワークス	UGN	エーエージェントA	カヴァー	
			年齢	20		性別	女性
オプショナル							
覚醒	償い		衝動	破壊		初期侵食率	34%
出自	資産家		経験	永劫の別れ		邂逅	家族

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	0
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			R C	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
両手剣	白兵	5r-1	3	10		他の武器装備不可。
		0				通常 7dx7-1
		0				100%（全力）(11+6)dx2-1

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
		0			
フォーマル+(適宜購入判定)[アルティメイド服]		10	0	-3	RC+3[購入:20/常備化:33]

所持品		合計装甲：	10	合計回避：	0
		ロイス			
		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス消費
		賢者の石 (レネゲイドクリスタル)	P	N	
		親（里親）	P 誠意	N 不快感	
		神城早月	P 信頼	N 悔悟	
		キャラ：さゆり	P	N	
		キャラ：フェス	P	N	
		キャラ：なおきの	P	N	
			P	N	
		最大財産P:	10	残り財産P:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト(ハヌマーン)	3	2	メジャー					
効果：クリティカル値を下げる(下限値7)								
リミットリリース	1	6	オート				100	
効果：クリティカル-1（下限値5）。シナリオ1回。								
電光石火	1	3	メジャー/リアクション			肉体/感覚		
効果：[Lv+1]個ダイス追加。自分に1Dのダメージ。								
援護の風	4	2	オート		単体			
効果：ダイス+Lv個								
エンジェルヴォイス	3	4			視界	交渉		
効果：メジャーのクリティカル-1。ダイス+Lv個。								
風の渡し手	2	3				交渉		
効果：対象を[Lv+1]に。シーン1回。								
軍神の守り	1	2	オート					
効果：カバリングを行う。								
彼方からの声	★	1	メジャー	視界				
効果：秘密の会話、[Lv]km先まで音声伝達。必要に応じて[RC]判定。								
体系維持	★		自動					
効果：体形が望んだまま維持される。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

<キャラクター特性>
※玲は自身の侵食値が100%未満の場合、可能な限り「軍神の守り」によるカバリングを実行する。
ただし、攻撃される対象を主人・依頼者等守るべき対象と認識している場合のみ。
※本項はキャラクターの行動指針を示すものであり、追加の効果を持たない。

<略歴>
日本人とノルウェー人の血を引く孤児。出生名は「アストリッド（Astrid）」。幼くして身寄りを失った後、代々有力者のもとへ使用人を輩出してきた御影家に引き取られ、「御影 玲」の名を与えられる。「命に代えても主人を守れ」。それが御影家の家訓だった。
御影の名を継ぐ者として、使用人としての作法や教養に加え、有事に主人を守るための戦闘技術を叩き込まれた後、神城グループへ奉公に出される。

神城家ではその技能を買われ、使用人兼護衛として要人警護に従事した。しかし、ある任務で襲撃を受け、護衛対象を守りきれず、自身も瀕死の重傷を負った。通常の治療による回復は絶望視され、護衛任務にも失敗した玲を救命する理由はないとして、そのまま処分されかける。

そんな玲を救ったのが、亡くなった要人の娘、神城早月だった。早月の強い口添えにより、当時最高機密に属していたレネゲイドクリスタル——「賢者の石」を用いた移植処置が試みられる。適合の保証すらない実験的な処置だったが、玲は奇跡的に生還した。

しかし、傷ついた身体が完全に元へ戻ったわけではない。移植によって肉体の再生には成功したが、レネゲイドクリスタルとの適合は不完全。平常時にはレネゲイド活動が抑制されており、身体能力に制限が生じている。そのため、長時間の激しい運動には耐えられず、定期的な休息を必要とする。一方、賢者の石を短時間だけ完全励起させることでその制約を強引に踏み越え、負傷以前をも上回る力を発揮することができる。ただし身体とレネゲイドへの負担は甚大であり、文字通り一度きりの切り札である。

現在はUGNエーエージェントとして任務に従事する一方、神城早月のメイド兼護衛も務めている。任務失敗の責任を問われ神城家から籍を外されたため、もはや神城